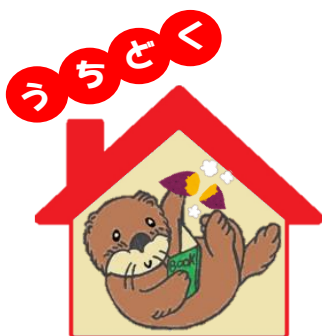




「うちでどくしょ」(あき)

2020.11.8発行：小郡市立図書館小郡市大板井 136-1 Tel：72-4319

ふかくほりさげる、秋

どくしょ あき みの
読書の秋は実りの秋。いもをほるように、
読書も深ふかほりしませんか？

「うちでどくしょ(あき)」では、あなたのきょうみ
をどんどんひろげて深める本をしょうかいします。

本をさがしに、市立図書館や学校の図書館へでかけ
ましょう！



保護者の方へ

読書は個人的な営みですが、たまには、家族で1冊の本を囲み、読みあうのもよいものです。本の楽しさとともに、家族で楽しい時間を共有することが、お子さんにとって、何ものにも代えがたい幸せな経験になります。

本には、いろいろなジャンルがあります。物語が好きでないから、全ての本が楽しめないというわけではありません。まずはお子さんが興味のある分野から、家読をはじめてみま

『300年まえからつたわる**とびきり** おいしいデザート』

エミリー・ジェンキンス／文 ソフィー・ブラッ
コール／絵 横山和江／訳 あすなろ書房

300年前からイギリスで食べられている
デザート“ブラックベリー・フール”。デザートのおいしさは
かわりませんが、人びとのくらしは少しずつかわっていきま
す。この絵本では、300・200・100年前、そしてげんだい
と、このデザートが作られるようすをしょうかいしています。



おいしいもの
のれきしを
ふかほり

『すしのひみつ』

日比野光敏／著 金の星社

日本には、1200年以上も前から伝わる食べ
ものがあります。外国人にも人気のすしです。
むかしは、米で魚をはっこうさせた食べものでした。それが、だんだんと変化していった
のです。れきしを知って食べれば、おすしが
もっとおいしくなりますよ。





『カボチャのなかにたねいくつ?』

マーガレット マクナマラ // 作
G.ブライアン カラス // 絵
真木 文絵 // 訳 フレーベル館

ある日先生が、大・中・小、3つのカボチャを持ってきて「たねはいくつはいつているかな?」と言います。チームに分かれ“たねをかぞえよう作戦”が始まります。どうやって数えたら早いと思いますか?

算数に興味をもったなら



『和算って、なあに? 日本の算数』

小寺 裕 // 著
少年写真新聞社

算数や数学は明治時代にヨーロッパから日本にやってきました。しかし、江戸時代にはユニークな発展をした和算という算数がありました。おうちの人と一緒に世界的に見ても珍しい和算に挑戦してみませんか?



『生物に学ぶ技術の図鑑』 生物模倣技術<バイオミメティクス>の知恵

成美堂出版編集部 // 編著
成美堂出版

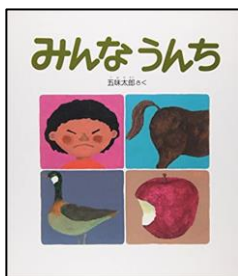
生物のふしぎをもっとくわしく知りたいなら

『ヤモリの指から不思議なテープ 自然に学んだすごい技術』

松田 素子・江口 絵理 // 文
石田 秀輝 // 監修
アリス館



簡単に付けたり外したりできる”マジックテープ”は植物のオナモミ、雨にぬれても水をはじいてくれるレインコートはイネの葉の仕組みをヒントに開発されました。みんなの生活を便利にしてくれるこれらの技術、実は植物や動物の研究から生まれていることを知っていましたか? まだまだ、自然や動物たちに学ぶことがたくさんあるようです。さあ、あなたも生物の不思議から何かを発明できるかもしれませんよ。



『みんなうんち』

五味 太郎 // さく 福音館書店

生きものはみんなウンチをします。ゾウは大きいウンチ、ねずみは小さいウンチと大きさはそれぞれちがいます。では、ウンチのかたちは? ウンチをするばしょは?

ひとことに「ウンチ」といっても、いろんなウンチがあることを知ることができる絵本です。

おくぶかい! ウンチの世界



『先生、ウンチとれました 野生動物のウンチの中にある秘密』

牛田 一成 // 著 さ・え・ら書房

著者はアフリカのチンパンジーやゴリラのウンチを集め、研究をしています。そんな研究が何の役にたつのでしょうか? 実は、人間にちかいサルのウンチを調べることで、人間の腸の中の細菌についても知ることができるのです。たかがウンチとあなどってははいけません!



『地球をほる』

川端 誠 // 作 BL 出版

夏休み、つよしとけんたとけんたの姉さんは、地面に穴をほって地球の裏側（アメリカのケンタッキー州）に行くことにしました。食べ物や道具も用意して、穴をほり進めた3人は無事アメリカに着くことができるのでしょうか？

地球を
ふかくほる



『深く、深く掘りすめ! <ちきゅう>』

世界にほこる地球深部探査船の秘密

山本 省三 // 著 友永 たろ // 絵 くもん出版

地震や火山のことを詳しく知るためには、地球を深く掘る必要があります。この難しいミッションに挑んだのが、日本の船だということを知っていましたか？この船を作る人、乗る人の熱い思いにふれてください。



『ワニのライルがやってきた』

B・ウェーバー / さく 小杉佐恵子 / やく
大日本図書 *シリーズ全8冊

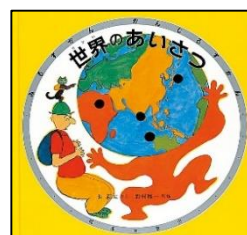
東88番通りの家にひっこしてきたプリムさん。ひっこしにもつを片付けていると、きみょうな音が聞こえます。おくさんがおふろばのドアをあけると、そこには1匹の大きなワニがいました。ワニの名前はライル。ライルとプリムさん一家のゆかいで楽しいおはなしです。

外国の
まちなみを
知る

『This is Ireland』

「ジス・イズ」シリーズ *全18冊
ミロスラフ・サセック / 著 松浦弥太郎 / 訳
ブルース・インターアクションズ

作家のサセックさんが世界中を旅してかいた絵本のシリーズです。いろいろな国のれきしやしぜん、人びとのくらしがえがかれています。ゆうめいなたてものなどの名所もしょうかいされていて、ページをめくるといつのまにかアイルランドの町にいるような気分になります。



『世界のあいさつ』

長新太 // さく 野村雅一 // 監修 福音館書店
世界のあいさつを集めてみよう！

『あいうえおの本』

安野光雅 // [作] 福音館書店

“あ”からはじまる言葉 “い”からはじまる言葉が 絵の中に隠れているよ。いくつ分かるかな？



ことばを
ふかくほる



『ことばハンター 国語辞典はこうつくる』

飯間 浩明 // 著
ポプラ社

人と話すのが苦手で、外で遊ぶより家の中で本を読むことが好きで、辞書を読むことが好きで、気が付いたら辞書を作る人になっていた著者。ちょっと楽しい辞書のあれこれ。



『Red あかくてあおいクレヨンのはなし』

マイケル・ホール／作 上田勢子／訳 子どもの未来社

赤いクレヨンなのに、赤くぬるのがとくいじゃないレッド。まわりのみんながしんぱいしたり、はげましたりしてくれますが、青くしかぬれません。ある日、あたらしい友だちから海をかくのをたのまれると、とてもうまくできました。



『よめたよ、リトル先生』

ダグラス・ウッド／作 ジム・パーク／絵
品川裕香／訳 岩崎書店

ダグラスは、字を読むことがにがてな男の子。ものごとに集中することができないので、勉強がきらいです。そんなダグラスに、リトル先生はやさしく読み方を教えてくれて、やがて本が読めるようになります。

『繊細すぎてしんどいあなたへ HSP相談室』

串崎真志／著 岩波書店

何か気になることがあると、イライラしたり、なげやりになったりすることは誰でもあります。でも毎日のちょっとしたことがとても気になって、つまかさんなって、「生きづらい」と感じてしまう性格の人もいます。この本は、そんな“繊細（せんさい）”な自分をダメな人だと考えず、いかしていく方法を教えてください。



『刑務所しか居場所がない人たち』

山本譲司／著 大月書店

みなさんは刑務所ってどんな所だと思いますか？著者の山本さんは一年半の服役（刑務所に入り決められた作業をすること）で、自分が考えていた所とまったくちがうことを知ります。助けが必要なのに世の中から見はなされてしまった人たちがくらす刑務所。社会のあり方について考えさせられる本です。



『どうして博物館に隕石が展示されたの！？』

ジェシー ハートランド／さく
志多田 静／やく 六耀社

隕石（いんせき）は、宇宙からおちてきた石のことです。この本では、宇宙で生まれたとある隕石が、どんな旅をして、さいごにアメリカの博物館で展示されるようになったのか、わかりやすく説明されています。

宇宙から
地面にもぐる



『巨大隕石から地球を守れ』

高橋 典嗣／著 少年写真新聞社

もし地球に大きな隕石が落ちてきたら、その影響で地球全体の気温はさがり、生き物が絶滅してしまうかもしれません！この本では、そんな危険な隕石から地球を守る「スペースガード」という活動を紹介しています。隕石の良いところも悪いところも知ることができます。